

令和元年度 桂雪会 事業報告

1 総会

令和元年6月22日(土) ホテル ほていや 14:00～
(講演会:「故郷 飯山に寄せる思い」 講師 宮崎 汎)

2 役員会等

- 第1回 令和元年5月8日(火) 飯山高等学校 応接室 18:00～
・総会の議事内容についての検討
- 第2回 令和元年6月22日(土) ホテル ほていや 13:30～
・総会の進め方について打ち合わせ
- 第3回 令和2年1月24日(金) なかまち食堂 17:30～
・次年度役員改選について ・幹事の設置 ・周年事業について
- 第4回 令和2年3月13日(金) 飯山市公民館206教室 17:30～
・次年度役員候補について
- 第1回 周年行事検討委員会 令和2年3月13日(金) 市公民館206教室 18:30～
・周年事業名「飯山高等学校創立120周年記念事業」とする
・2023年10月開催を目標とする
・基本的には、記念式典・講演会、祝賀会、記念誌、その他の記念事業
・記念事業は、準備委員会の若い委員のアイデアを生かして検討決定していく
・組織の検討・・・(部会)総務、式典、祝賀会、記念誌、事業、募金…

3 桂雪会名簿作成 (H28～4年間で完成)

- ・株式会社サラトと契約し、長年の課題であった同窓会名簿が令和2年1月25日に完成し、予約者に配布。
- ・当初負担金100万円をR2年度に支払う。



4 「飯山高校甲子園出場実行委員会」への協力

- ・同窓生への募金のお願いをサラトに業務委託して行った。
- ・関同窓会長様に実行委員長を務めていただき、募金や応援、記念写真集や記念碑の作成等を行った。
- ・記念碑は3月25日に体育館南側の擁壁に設置。



5 桂雪会報の発行

第3号が2月1日に完成し、校内、同窓会役員関係者に配布した。
会員全員には配布できないので、新設なったHPに掲載した。

6 教育支援事業

① 桂雪アカデミー

- ・平日 19:00～20:30 週休日・休日 8:30～17:00 模試・補習・学習室開放
延べ参加数 7455人 (H30 延べ9791 H29 延べ7424人) 3年は少なかったが1・2年で増加

② スクールバス事業

- ・12月9日(月)～3月4日(水) 朝 中野・山ノ内方面1台、木島平方面1台+小型、
夕方1台 利用生徒数 中野・山ノ内 25名、木島平 32名

③ マイクロバス事業

- ・マイクロバスの管理運営と会計 マイクロバスは中古でローン購入
4年間62600円/月(残り2年)



④ クラブ活動等教育支援

- ・夏の野球大会応援バス助成、ユースオリンピック激励金、ノルディックジュニア世界大会激励金、文化系課題研究発表の旅費支援
- ・懸垂幕の制作：北信越大会（ワンダーフォーゲル部・陸上競技部）、英語プレゼン全国大会（探究科課題研究）、県吹奏楽コンクール優勝、（吹奏楽部）ユースオリンピック冬季競技大会、ノルディックジュニア世界大会
- ・全国高校スキー大会男子総合優勝・女子総合準優勝パレード報告会用手旗作成

7 教育環境整備等

- ・情報機器支援（プリンター消耗品、信毎データベース使用料）
- ・卒業記念品一部負担（自由活動コーナーにアコーディオンカーテン設置）
- ・寄宿舎の休日の管理



8 桂雪会HPの開設

- ・3年越しの課題であったが、ようやく3月25日に開設できた。
『飯山高校 桂雪会』で検索するか飯山高校WEBサイトからリンク
- ・情報を発信します。



9 その他

- ・木原正徳氏からの絵画寄贈 12月16日（月）3F廊下の設置
- ・校章バッチ(入学生)、卒業証書入れの贈呈(卒業生)

・「池川・大沼・沼田基金」による2年目の飯山フォーラム

この基金は、池川信夫（東京工業大学名誉教授）、大沼淳（文化学園理事長）、沼田克雄（故人）の3人が発起人となり、飯山や周辺地域での人材育成や地域活性化を目的として設立したもの。企業や個人に参加を呼びかけ、中高校生や住民を対象にした講演会を開催してきた。

第4回 R1年5月25日（土）水嶋 智 氏「観光立国の現状と取り組み～そして飯山みゆき野のこれから～」

第5回 R1年7月19日（金）古屋 和雄 氏「ことばは生きる力～求められるコミュニケーション力～」

第6回 R1年12月8日（日）ラシャッド・ブフル氏 「日本とモロッコ王国と私」

第7回 R2年3月5日（木）白石ユリ子「クジラから世界が見える～クジラから日本と世界の文化、社会と地域再生を学ぶ」は新型コロナウイルスの影響で延期

また、3月6日に課題研究発表グループに賞（池川賞・大沼賞・沼田賞）を贈る予定だったが発表会も中止となった。



令和元年度 桂雪会一般会計 決算書

1 総括

収入済額	9,063,494 円
支出済額	6,173,987 円
差引残額	2,889,507 円

2 収入

科目	当初予算額	補正額	現計予算額 (A)	収入済額 (B)	差引 (B)-(A)
1 繰越金	2,567,963	0	2,567,963	2,567,963	
2 繰入金	0	0	0	0	0
3 入会金	398,000	0	398,000	398,000	0
4 会費	6,210,000	0	6,210,000	5,970,000	△ 240,000
5 諸収入	1,037	0	1,037	127,531	126,494
合計	9,177,000	0	9,177,000	9,063,494	△ 113,506

3 支出

科目	当初予算額	流用額	現計予算額 (A)	支出済額 (B)	差引 (A)-(B)
1 事務費	500,000	0	500,000	279,716	220,284
会議費	200,000	△ 50,000	150,000	86,723	63,277
旅費	100,000	0	100,000	68,980	31,020
消耗品費	50,000	0	50,000	0	50,000
通信費	50,000	50,000	100,000	85,513	14,487
慶弔費	100,000	0	100,000	38,500	61,500
2 本会事業費	2,077,000	0	2,077,000	772,247	1,304,753
会報発行費	1,155,000	△ 238,000	917,000	420,820	496,180
記念品費	322,000	0	322,000	245,170	76,830
山林管理費	0	0	0	0	0
その他事業費	600,000	238,000	838,000	106,257	731,743
3 教育支援費	4,100,000	1,000,000	5,100,000	4,622,024	477,976
情報処理費	300,000	0	300,000	91,476	208,524
施設整備費	200,000	△ 200,000	0	0	0
教育補助費	2,300,000	600,000	2,900,000	2,801,160	98,840
生徒助成費	800,000	600,000	1,400,000	1,327,688	72,312
宿舍管理費	500,000	0	500,000	401,700	98,300
4 繰出金	1,500,000	△ 1,000,000	500,000	500,000	0
教育基金	1,000,000	△ 1,000,000	0	0	0
マイクロバス会	500,000	0	500,000	500,000	0
5 予備費	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000
合計	9,177,000	0	9,177,000	6,173,987	3,003,013

※ 各科目間の流用は、必要に応じて会長が承認できるものとする。

備考1 借入金の返済状況

(単位:円)

項目	金額	備考
1 当初借入額	2,700,000	桂雪会飯山高校支援金から借入
2 返済額	2,700,000	H29.5.24、H30.6.14、R1.6.26 返済
3 期末借入残高	0	

備考2 預金通帳

金融機関名
八十二銀行飯山支店
JAバンク飯山支所
計

令和元年度 特別会計 教育基金決算書

1 総括

収入総額	0円
支出総額	0円
差引残額	0円

2 収入

(単位:円)

科目	予算額(A)	収入済額(B)	差引(B)-(A)	説明
繰入金	1,000,000	0	-1,000,000	
諸収入	255	0	△255	
合計	1,000,255	0	△1,000,255	

3 支出

(単位:円)

科目	予算額(A)	支出済額(B)	差引(A)-(B)	説明
積立金	1,000,255	0	1,000,255	
合計	1,000,255	0	1,000,255	

資産(定期預金)

(単位:円)

金融機関名	名義	預金種別	残高
八十二銀行飯山支店	桂雪会	定期預金	3,000,510

令和元年度 特別会計 桂雪会マイクロバス会計決算書

1 総括

収入総額	1,616,599円
支出総額	1,223,801円
差引残額	392,798円

2 収入

(単位:円)

科目	予算額(A)	収入済額(B)	差引(B)-(A)	説明
繰越金	560,495	560,495	0	前年度繰越金
繰入金	500,000	500,000	0	一般会計から繰り入れ
マイクロバス使用料	500,000	550,000	50,000	
諸収入	6	6,104	6,098	預金利息4円、前マイクロバス保険料返金6,100円
合計	1,560,501	1,616,599	56,098	

3 支出

(単位:円)

科目	予算額(A)	支出済額(B)	差引(B)-(A)	説明
事務費	20,000	10,500	9,500	安全運転管理者講習
維持管理費	350,000	297,911	52,089	車検整備費、修理費、タイヤ代等
自動車税・保険料	150,000	160,920	△10,920	
借入金返済金	754,440	754,470		
予備費	286,061		286,061	
合計	1,560,501	1,223,801	336,700	

令和2年度 桂雪会 事業計画

1 総会 役員会 等

総会は、新型コロナウイルス感染防止の観点から開催を断念し、代議員会の決議をもって代替する。代議員会は5月30日(土)18:00の予定。

役員会、代議員会は必要により随時開催する。

2 学校が主催する学校評議員会、職員歓送迎会、飯高祭、授業公開等に参加する。

3 桂雪会報の発行

- ・第4号 令和2年1月下旬に発行予定
- ・役員、支部、生徒・教職員に配布
- ・HPに掲載する

4 教育支援事業の実施

- ・桂雪アカデミー
- ・スクールバス事業・・・個人負担増にして同窓会負担軽減の方向で
- ・マイクロバス事業
- ・学業・クラブ活動支援・・・クラブ外部指導者への謝礼
- ・生徒指導助成(宿舍管理等)
- ・卒業記念品(証書入れ)、校章バッジの贈呈

5 教育環境整備事業の実施

- ・情報機器支援(プリンターのトナー、PC4台のレンタル代等)
- ・第1グラウンドの防球ネット設置(PTAと共同で複数年をかけて整備)
- ・洗浄便座の増設
- ・(第2体育館の照明のLED化)

6 長野県飯山高等学校120周年記念事業準備委員会

2023年10月(121年目)記念式典開催を目途に事業内容や募金の検討など準備を進める(参考)

2021年3月末で…飯山中:1903年4月(118年)、下水内高女:1921年4月(98年)
照丘分校:1948年4月(73年)、飯山高:2007年4月(13年、6年)
飯山高校創立120周年(南100周年、照丘75周年、統合15周年)記念事業

7 その他

- ・飯山全国高校スキー大会(2021年2月開催)への協力と応援
- ・甲子園出場実行委員会の事業検討と活動への協力
- ・伝統継承室内の資料等、校内の同窓会関係の資料整理
- ・同窓生交流会館(教育文化活動、資料保管展示施設)建設の研究
- ・第2期高校再編に関する意見交換や地域協議会への協力
- ・池川・大沼・沼田基金の活動への協力

令和2年度 桂雪会一般会計予算書

1 総括

収入予算額 9,114,000 円
支出予算額 9,114,000 円

2 収入

(単位:円)

科目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	差引(A)-(B)	説明
1 繰越金	2,889,507	2,567,963	321,544	
2 繰入金	0	0	0	
3 入会金	394,000	398,000	△ 4,000	@2,000×197
4 会費	5,830,000	6,210,000	△ 380,000	@10,000×583
5 諸収入	493	1,037	△ 544	預金利息等
合計	9,114,000	9,177,000	△ 63,000	

3 支出

(単位:円)

科目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	差引(A)-(B)	説明
1 事務費	450,000	500,000	△ 50,000	
会議費	150,000	200,000	△ 50,000	総会・代議員会、役員会等の経費
旅費	100,000	100,000	0	総会・代議員会、役員会等の交通費
消耗品費	50,000	50,000	0	事務用品等
通信費	100,000	50,000	50,000	電話、郵送代等
慶弔費	50,000	100,000	△ 50,000	慶弔、祝儀、職員餞別等
2 本会事業費	2,000,000	2,077,000	△ 77,000	
会報発行費	500,000	1,155,000	△ 655,000	会報の印刷、会報作成補助
記念品費	300,000	322,000	△ 22,000	卒業記念品、校章バッジ等
山林管理費	0	0	0	
その他事業費	1,200,000	600,000	600,000	助成事業、会員親睦事業、名簿作成初期費用
3 教育支援費	4,764,000	4,100,000	664,000	
情報処理費	300,000	300,000	0	トナー、パソコン等への助成
施設整備費	864,000	200,000	664,000	洗浄便座(小体LED化)
教育補助費	2,300,000	2,300,000	0	桂雪アカデミー事業 400,000円 スクールバス事業 1,600,000円 他
生徒助成費	800,000	800,000	0	生徒指導助成 400,000円、 クラブ活動助成 400,000円
宿舍管理費	500,000	500,000	0	寄宿舍管理
4 繰出金	1,500,000	1,500,000	0	
教育基金	1,000,000	1,000,000	0	特別会計 教育基金へ
マイクロバス会計	500,000	500,000	0	特別会計 桂雪会マイクロバス会計へ
5 予備費	400,000	1,000,000	△ 600,000	
合計	9,114,000	9,177,000	△ 63,000	

※ 各科目間の流用は、必要に応じて会長が承認できるものとする。

令和2年度 特別会計 教育基金予算書

1 総括

収入予算額 1,000,255 円
支出予算額 1,000,255 円

2 収入

(単位:円)

科目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	差引(A)-(B)	説明
繰入金	1,000,000	1,000,000	0	一般会計から繰入
諸収入	255	255	0	定期預金利息
合計	1,000,255	1,000,255	0	

3 支出

(単位:円)

科目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	差引(A)-(B)	説明
積立金	1,000,255	1,000,255	0	定期預金
合計	1,000,255	1,000,255	0	

令和2年度 特別会計 桂雪会マイクロバス会計予算書

1 総括

収入予算額 1,292,802 円
支出予算額 1,292,802 円

2 収入

(単位:円)

科目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	差引(A)-(B)	説明
繰越金	392,798	560,495	△ 167,697	前年度繰越金
繰入金	500,000	500,000	0	一般会計から繰入
マイクロバス使用料	400,000	500,000	△ 100,000	運動部
諸収入	4	6	△ 2	預金利息
合計	1,292,802	1,560,501	△ 267,699	

3 支出

(単位:円)

科目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	差引(A)-(B)	説明
事務費	20,000	20,000	0	安全運転管理者講習
維持管理費	300,000	350,000	△ 50,000	車検整備・整備費・スタッドレス等
自動車税・保険料	163,000	150,000	13,000	
借入金返済金	790,500	754,440		マイクロバス購入費借入金返済金
予備費	19,302	286,061	△ 266,759	
合計	1,292,802	1,560,501	△ 267,699	

桂 雪 会 会 則 (改定案)

第 1 章 総 則

第 1 条 本会は桂雪会と称する。

第 2 条 本会は会員相互の親睦を図り、併せて本校の繁栄に寄与することを目的とする。

第 3 条 本会の事務局を長野県飯山高等学校内に置く。

第 4 条 本会は正会員、準会員及び特別会員をもって組織する。

第 2 章 会 員

第 5 条 本会の会員は次の通りとする。

1 正会員

長野県立飯山中学校卒業生、同併設中学校卒業生、長野県飯山北高等学校卒業生、長野県飯山高等女学校卒業生、同専修科卒業生、長野県飯山南高等学校卒業生、同併設中学校卒業生、長野県飯山照丘高等学校卒業生、長野県飯山高等学校卒業生とする。

ただし、中途退学者にあつては、本人の申し出により、役員会の承認を得て正会員になることができる。

2 準会員

長野県飯山高等学校在校生とする。

3 特別会員

長野県飯山北高等学校、長野県飯山高等女学校、長野県飯山南高等学校、長野県飯山照丘高等学校、長野県飯山高等学校の旧職員と長野県飯山高等学校の現職員とする。

また、名誉ある会員を役員会で推薦し、総会で承認した者とする。

第 3 章 役 員 及 び 顧 問

第 6 条 本会に次の役員を置く。

会 長	1 名
副 会 長	若干名
会 計	1 名
庶 務	1 名
幹 事	10 数名
監 事	2 名
支 部 長	各支部 1 名
代 議 員	各支部 2 名
校内幹事	若干名

第 7 条 本会に顧問を置く。顧問は学校長及び特に本会に功績のあった会員を会長が推薦し、総会に諮り決定する。

ただし、顧問は、本会の運営に関し、意見を述べることができる。

第 8 条 役員の仕事は次の通りとする。

- 1 会 長 本会を代表し、会務を総括する。
- 2 副 会 長 会長を補佐し、会長の事故あるときはその職務を代行する。
- 3 会 計 本会の会計事務にあたる。
- 4 庶 務 本会の議事録など作成するほか、その他の事務にあたる。
- 5 幹 事 本会の事業を推進する
- 6 監 事 本会の会計を監査する。
- 7 支 部 長 支部を代表し、本部との連携にあたる。

第 6 章 会 計

第 19 条 本会の経費は、会費、入会金、寄付金その他の収入をもって充てる。

第 20 条 本会の会計年度は毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとする。

第 7 章 附 則

第 21 条 本会の会則の改廃は、総会の出席者の 3 分 2 以上の賛成を必要とする。

第 22 条 9 条 4 項の代議員の選出方法は役員会において決定し、総会の承認を得なければならない。

第 23 条 本会則は平成 28 年（2016 年）4 月 1 日から適用する。

※ 令和 2 年（2020 年）5 月 30 日一部改訂

飯山高等学校同窓会代議員選出規程

〔目 的〕

第 1 条 この規程は会則 9 条 4 項の規定に基づく、代議員の選出方法について、定めることを目的とする。

〔選出方法〕

第 2 条 代議員の選出方法は次の通りとする。

- 1 各支部は 2 名とし、支部長 1 名と支部役員から 1 名選出する。なお、役員会の承認を得て必要に応じ増員することができる。

飯山高等学校同窓会総会・代議員会・役員会旅費規程

〔目 的〕

第 1 条 この規程は会則第 12 条・第 13 条・第 14 条の規定に基づく、総会・代議員会・役員会への出席者に対する旅費支給について、定めることを目的とする。

〔選出方法〕

第 2 条 総会・代議員会・役員会への出席者のうち、旅費支給の対象者となる者は以下の通りとする。

- 1 北海道支部・東京関東支部・東海支部・静岡支部・関西支部・5 支部から、選出された役員に支給する。代議員については 1 名とする。

〔支給金額〕

第 3 条 第 2 条で定める者に支給する金額は以下の通りとする。

- 1 東京関東支部・東海支部・静岡支部・関西支部については、支給対象者が居住する最寄りの JR 駅から、JR 飯山線北飯山駅までの往復 JR 運賃と特急料金を支給する。
ただし、宿泊費は支給しない。
- 2 北海道支部については、支給対象者が居住する最寄りの JR 駅から、道内空港を利用し、羽田空港等を経由して、JR 飯山線北飯山駅までに至るまでの道内往復 JR 運賃と特急料金及び往復航空運賃並びに羽田空港等から JR 飯山線北飯山駅までの往復 JR 運賃と特急料金を支給する。
ただし、宿泊費は支給しない。
- 3 支給金額の上限は 7 万円とする。

附 則 この規程は平成 28 年（2016 年）4 月 1 日から適用する。

- 8 代議員 本会の予算、決算、その他重要事項を審議する。
- 9 校内幹事 本会の運営を補佐する。

第9条 役員を選出方法は次の通りとする。

- 1 会長、副会長、**幹事**、監事は総会において、正会員の中より選出する。
- 2 会計、庶務は校内幹事より選出する。
- 3 支部長は、各支部で選出する。
- 4 代議員は、別に定める方法により選出する。
- 5 校内幹事は、学校長より推薦のあった者を会長が委嘱する。

第10条 役員の任期は2か年とし、再選は妨げない。ただし、役員に欠員が生じたときの任期は前任者の残任期間とする。

第4章 機関及び組織

第11条 本会は第2条の目的を達成するため、次の機関を置く。

- 1 総会
- 2 代議員会
- 3 役員会 **(幹事を含む)**
- 4 校内幹事会 **(幹事会)**
- 5 支部

県外支部 (5)	北海道 東京関東 静岡 関西 東海
県内支部 (21)	長野 上小 須高 豊野 中野 豊田 山ノ内 木島平 野沢温泉 栄 飯山 秋津 木島 瑞穂 柳原 外様 常盤 太田 岡山 真田 津南
職域支部 (1)	県庁

第12条 総会は本会の最高議決機関であり、定期総会は毎年6月に開催する。
また、必要に応じて臨時総会を開催することができる。その議決は出席者の過半数の賛成を必要とする。総会の出席者に対する旅費の支給は別に定める。

第13条 代議員会は総会に次ぐ議決機関であり、代議員会をもって総会に代えることができる。その議決は出席者の過半数の賛成を必要とする。代議員会の出席者に対する旅費の支給は別に定める。

第14条 役員会は会長、副会長、会計、庶務、**幹事**、及び校内幹事をもって組織し、会長が必要によって招集する。
なお、必要に応じて監事の出席を求めることができる。その議決は出席者の過半数の賛成を必要とする。役員会の出席者に対する旅費の支給は別に定める。

第15条 校内幹事会は必要によって開催することができる。

第16条 支部は総会の承認を得て設置、統合、廃止することができる。

第5章 入会金及び終身会費

第17条 本会の準会員になろうとする者は、入会金として2,000円を入学時に納入しなければならない。入会金は原則として返還しないものとする。

第18条 本会の正会員になろうとする者は、終身会費として30,000円（各学年毎に10,000円を徴収する）を納入しなければならない。

1 本会役員

職名	氏名
顧問	池川 信夫
顧問	大沼 淳
顧問	岩崎 彌
顧問	猪瀬 清徳
顧問	森 司朗
顧問	関 保典
顧問	滝澤 崇
会長	宮本 衡司
副会長	内山 英樹
副会長	高橋 彰
副会長	瀧澤 俊實
副会長	太田 良夫
副会長	小嶋日出子
監事	箕口 徳夫
監事	平野 正幸

飯山支部	支部長	上松 永林
	副支部長	横川 荘一
	副支部長	村石桂太郎
秋津支部	支部長	島田 和彦
	副支部長	森山 善司
木島支部	支部長	丸山 朗
	副支部長	関 藤夫
瑞穂支部	支部長	澤木 伸一
	副支部長	増山 保範
柳原支部	支部長	岩松 義雄
	副支部長	佐藤 正夫
外様支部	支部長	木幡喜美子
	副支部長	春日 早夫
常盤支部	支部長	春日 隆
	副支部長	平野 正幸
太田支部	支部長	青木 彰
	副支部長	庚 繁樹
岡山支部	支部長	井沢 清一
	副支部長	田中 康一
木島平支部	支部長	瀧澤 俊實
	副支部長	池田 充栄
野沢温泉	支部長	平田 幸男
	副支部長	富井 裕昭
栄支部	支部長	森川 博
	副支部長	渡辺 要範
長野支部	支部長	武田 芳彦
	副支部長	瀧澤 国夫
須高支部	支部長	小林 守夫
	副支部長	大熊 文久
豊野支部	支部長	米木 善登
	副支部長	原田 茂
中野支部	支部長	
	副支部長	
豊田支部	支部長	吉岡 典高
	副支部長	小橋 浩樹
津南支部	支部長	島田 哲宏
	副支部長	
県外(5)		
東京関東支部	支部長	青井 富雄
	副支部長	高橋 彰
	副支部長	阿部 靖典
	会計	阿部 靖典

2 幹事

幹事長 上海 一徳
 副幹事長 村石 桂太郎
 副幹事長 小橋 浩樹
 副幹事長 湯本 直木
 幹事 山崎 美典
 幹事 大塚 正
 幹事 新家 智裕
 幹事 小田切 昇
 幹事 藤巻 篤
 幹事 藤本 智教
 幹事 岡田 敬幸
 幹事 川久保 直市
 幹事 吉越 利明
 幹事 小山 巧
 幹事 島田 和彦
 幹事 澤木 伸一

3 校内幹事

事務局（同窓会係） 渡辺藤夫、宮澤良裕、小林幸太郎、山崎 皓、岩上寿昭
 倉田慎司（教頭）、浦野幸夫（事務長）

校内幹事 清水信一、石澤一芳、月岡美来、中村英、久保田真一郎、河野安雄、高橋幸一郎
 矢崎悠喜、山岸 禅、小島静一、丸山大樹、荻原真理子、山野井美智子
 高藤裕之、北條恵

（相談役 米澤 修一）

長野県飯山高等学校創立 120 周年記念事業準備委員会 (2020 年 6 月～2022 年 5 月)
 →創立 120 周年記念事業実行委員会へ (2022 年 6 月～2023 年 10 月)

長野県飯山高等学校創立 120 周年記念事業準備委員会組織図

《 》 は実行委員会から

